

令和 2 年度 大江町新型コロナウイルス感染症対策関連（新築）住宅支援事業補助金
補助金交付申請書

令和 年 月 日
大江町長 殿 〒 _____
住 所 _____
フリ ガナ
氏 名 _____ (印)
電話番号 _____

補助金について、下記のとおり交付されるよう令和 2 年度大江町新型コロナウイルス感染症対策関連（新築）住宅支援補助金交付要綱（以下「要綱」という。）第 5 条の規定により申請します。
本申請書に記載の事項は、事実と相違ありません。なお、記載内容が事実と異なり、住宅の要件を満たさない場合は、交付決定を取り消されても異議を申し立てません。

記

1 対象住宅 【該当する□にレ点を記入してください。】

対象住宅の区分	☐ 県産木材多用型	☐ 寒さ対策・断熱化型
	☐ 子育て支援型（ ☐ 三代・ ☐ 近居）	☐ 移住促進型

2 次の書類を添付書類として提出します。

共通	案内図、配置図、平面図、断面図又は立面図	☐
寒さ対策・断熱化型	やまがた健康住宅設計適合証の写し	☐
子育て支援型（近居）	親世帯と子世帯の住宅敷地が近居区域内であることを記載した地図	☐
子育て支援型（三代、移住促進型、近居）	誓約書（様式 1 号別添様式）	☐

3 補助金の対象となる建設工事の内容

(1) 住宅の建設場所等

住宅の建設場所の地名・地番	
住宅の予定建設工事費	万円（土地購入費等は含みません）
延べ床面積	m ²
県産木材納入予定業者名【番号】	【やまがたセンター第 号】

(2) 県産木材の使用基準 【該当する□にレ点を記入してください。】

○県産木材多用型 県産木材必要量 (m ³) ＝住宅の延べ面積 (m ²) _____ m ² × 0.1 × □1.0 かつ 15m ³ 以上 ＝ _____ m ³ (少数第 2 位以下切捨て)	□適合する
○県産木材多用型以外 県産木材必要量 (m ³) ＝住宅の延べ面積 (m ²) _____ m ² × 0.1 × □0.5 ＝ _____ m ³ (少数第 2 位以下切捨て)	

※県産木材とは、「やまがた県産木材利用センター」が実施する『「やまがたの木」認証制度』等で、山形県を産地とする木材であることが証明された木材又は認証された合板等及び集成材です。

※県産木材の必要量は、住宅の延床面積の 1 m²ごとに 0.1 m³を乗じて算定した数値で、県産木材多用型であれば 100%かつ 15 m³以上、その他であれば 50%以上使用する。

(3) 耐久性基準

(住宅の品質確保の促進等に関する法律第3条第1項の規定に基づく「日本住宅性能表示基準」に定める劣化対策等級「等級3」) 各部位の「□適合する」をチェックしてください。

外壁の軸組等	(評価方法基準3-1-(3)イ①a)	□適合する
土台	(評価方法基準3-1-(3)イ①b)	□適合する
浴室及び脱衣所	(評価方法基準3-1-(3)イ①c)	□適合する
基礎	(評価方法基準3-1-(3)イ①e)	□適合する
床下	(評価方法基準3-1-(3)イ①f)	□適合する
小屋裏	(評価方法基準3-1-(3)イ①g)	□適合する
構造部材等	(評価方法基準3-1-(3)イ①h)	□適合する

(4) 省エネ基準

(住宅の品質確保の促進等に関する法律第3条第1項の規定に基づく「日本住宅性能表示基準」に定める断熱等性能等級又は一次エネルギー消費量等級「等級4」)

該当する地域区分にチェック		☐ 3地域 ☐ 4地域 ☐ 5地域
次の①～⑤のいずれかの基準に適合させること。		
断熱等性能等級	① 住宅仕様基準1※+結露の発生を防止する対策に関する基準	
	② 外気平均熱貫流率に関する基準+結露の発生を防止する対策に関する基準	
一次エネルギー消費量等級	③ 設計一次エネルギー消費量が基準一次エネルギー消費量の値を上回らないこと	
	④ 外皮平均熱貫流率に関する基準+冷房機の平均日射熱取得率に関する基準	
	⑤ 住宅仕様基準1※及び2※	
①～⑤のいずれに該当させたか番号を記入する。		番号記入

※H28 国交省告示第266号「住宅部分の外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する基準及び一次エネルギー消費量に関する基準」

(5) 設計認証 【該当する□にレ点を記入してください。】 ※寒さ対策・断熱化型の場合に記入ください。

「やまがた健康住宅認証制度」における設計認証を受けている	☐ 適合する
------------------------------	-------------------------------

(6) 設計者等

上記(2)から(5)までの基準に適合する住宅を設計し、かつ施工することを誓約します。

工事関係者	設 計 者	施 工 者
住 所	〒	〒
会 社 名		
氏 名	(設計者氏名) 印	(代表者職氏名) 印
電話番号	— —	— —

令和 2 年度 大江町新型コロナウイルス感染症対策関連（新築）住宅支援補助金

誓 約 書

大江町長 殿

令和 年 月 日

郵便番号 _____

住所

氏名 _____

印

私は、令和 2 年度大江町新型コロナウイルス感染症対策関連（新築）住宅支援補助金に下記 1 の住宅として申し込みます。

当該住宅の完成時に、下記 2 の世帯員が当該住宅に居住し、補助金交付要綱第 3 条第 3 号又は第 4 号に定める要件に適することを誓約します。

記

1 対象住宅

【該当する□にレ点を記入してください。移住促進型の場合は移住前の居住地の都道府県名、移住時期を記入してください。】

☐ 子育て支援型（☐三世代・☐近居）

☐ 移住促進型（移住前の都道府県名：_____ 移住時期：_____）

2 住宅に居住予定の世帯員

【年齢は申込時の年齢をご記入ください。胎児の場合は氏名欄に「胎児」と記載し、母子手帳の写しを添付してください。】

氏名 _____（ ）歳 世帯主との続柄（ ）

氏名 _____（ ）歳 世帯主との続柄（ ）

氏名 _____（ ）歳 世帯主との続柄（ ）

氏名 _____（ ）歳 世帯主との続柄（ ）

氏名 _____（ ）歳 世帯主との続柄（ ）

氏名 _____（ ）歳 世帯主との続柄（ ）

対象住宅について

ア 子育て支援型（三世代同居・近居）・・・【三世代同居】世帯主との続柄が、祖父母、世帯主の父母（又は世帯主の配偶者の父母）、世帯主（又は世帯主の配偶者）、子（又は子の配偶者）及び孫の直系世代のうち、3 以上の世代が同居している世帯であって、平成 14 年 4 月 2 日以降に出生した世帯員がいる世帯が居住する県産木材使用住宅

イ 子育て支援型（三世代同居・近居）・・・【近居】平成 31 年 4 月 1 日以降に親世帯と子世帯（平成 14 年 4 月 2 日以降に出生した世帯員がいる世帯に限る。以下同じ。）の居所が新たに近居区域（親世帯と子世帯の居所の直線距離が 2 km 以下である区域、又は、親世帯と子世帯の居所が同一小学校の通学区域内である区域）内になった世帯（既に親世帯と子世帯の居所が近居区域内にある場合を除く。）が居住する県産木材使用住宅

ウ 移住促進型・・・平成 27 年 4 月 1 日以降に山形県外から県内市町村に住み替えた又は平成 23 年 3 月 11 日に東日本大震災の被災地（岩手、宮城及び福島各県に限る。）に居住しており、平成 27 年 3 月 31 日までの間に県内市町村に住み替え、住民基本台帳法（昭和 42 年法律第 81 号）第 22 条第 1 項の規定による転入届を当該市町村へ提出した世帯員がいる世帯が居住する県産木材使用住宅。

令和 年 月 日

大江町長 松田 清隆 殿

申請者 住 所
氏 名 印

令和2年度 大江町新型コロナウイルス感染症対策関連（新築）住宅支援事業
補助金交付変更（取下げ）承認申請書

令和 年 月 日付け指令大建水発第 号で交付決定通知のあった令和2年度大江町新型コロナウイルス感染症対策関連（新築）住宅支援事業補助金を変更（取下げ）したいので、交付要綱第7条第1項の規定により申請します。

記

申請内容	□補助金交付変更申請額 円 □取下げ
変更の内容又は 取下げの理由	
変更前の対象工事費 (変更の場合)	円
変更後の対象工事費 (変更の場合)	円

令和2年度 大江町新型コロナウイルス感染症対策関連（新築）住宅支援補助金

実績報告書

令和 年 月 日

大江町長 殿

郵便番号 _____

住 所 _____

氏 名 _____ (印)

下記の住宅について、（完成した・引渡しを受けた）ので報告します。
なお、本住宅は、令和2年度大江町新型コロナウイルス感染症対策関連（新築）住宅支援補助金
交付要綱第3条の規定に基づく補助金の対象となる住宅であることを、工事関係者と共に誓約します。

工 事 関係者	工 事 監 理 者	施 工 者	県 産 木 材 納 品 者
			「やまがたの木」認定事業者番号
住 所	〒 _____	〒 _____	〒 _____
会社名	_____	_____	_____
氏 名	(監理者氏名) _____ (印)	(代表者職氏名) _____ (印)	(代表者職氏名) _____ (印)
電話番号	() _____	() _____	() _____
FAX 番号	() _____	() _____	() _____

【該当する□にレ点を記入してください。】

対象住宅の区分	☐ 県産木材多用型	☐ 寒さ対策・断熱化型	☐ 子育て支援型 (☐ 三世代・ ☐ 近居)
	☐ 移住促進型		

【住宅の概要】

住宅完成日・引渡日	令和 年 月 日
住宅の建設場所の 地名・地番	
住宅の延べ床面積	m ²
建設工事費	万円 (消費税込み、万円未満切り捨て)

※対象住宅区分が子育て支援型（三世代同居・近居）、移住促進型である場合は、世帯要件を満たす住民票（世帯主との続柄が記載されたもの）を添付してください。

完成した住宅の全景のカラー写真

貼 付 欄

貼 付 欄

注1 住宅の外観写真を2面以上添付してください。

注2 写真については別途添付しても結構です。

また、完成した住宅の全景が確認できる写真であれば、枠の大きさよりも小さい写真（L判以上）でも結構です。

（第2面）

納品証明内訳書

部 位		県 産 木 材 使 用 量			
		材 積 (m³)	樹 種	産 地 の 市 町 村 名	木 材 の 管 理 番 号
軸 組	通し柱				
	管 柱				
	間 柱				
	胴差・桁・梁				
	土台・大引き				
	筋かい・貫				
	根 太				
小 計 ①					
小 屋 組	母屋・棟木・ 小屋束				
	垂 木				
小 計 ②					
構造材の計 (=①+②)		(A)	構造材のみの県産木材使用量(A) ≥ 県産木材必要量(E) の場合、 (B) (C) 欄は記入せず、(D) 欄には(A) 欄と同じ数値を御記入ください。		
構造材以外の部位 (納 品 済 み)		(B)	構造材のみの県産木材使用量(A) < 県産木材必要量(E) の場合、野地 板、造作材、内装材等構造材以外の部位に使用する県産木材（これ から納品される予定を含む。）の材積を算入することができます。		
構造材以外の部位 (納 品 予 定)		(C)			
合 計		(D) = (A) + (B) + (C)	県産木材使用量(D) ≥ 県産木材必要量(E) であることを御確認くだ さい。		
県産木材必要量 = 住宅の延べ面積(m²) × 0.1 × □1.0 かつ 15 m³以上				(E)	
□0.5				m³ (小数第2位以下切捨て)	

注 1 「販売管理票」の合計数量と (D) 欄の数値が一致することを確認してください。(納品予定の部材がある場合は、その数量を除く)

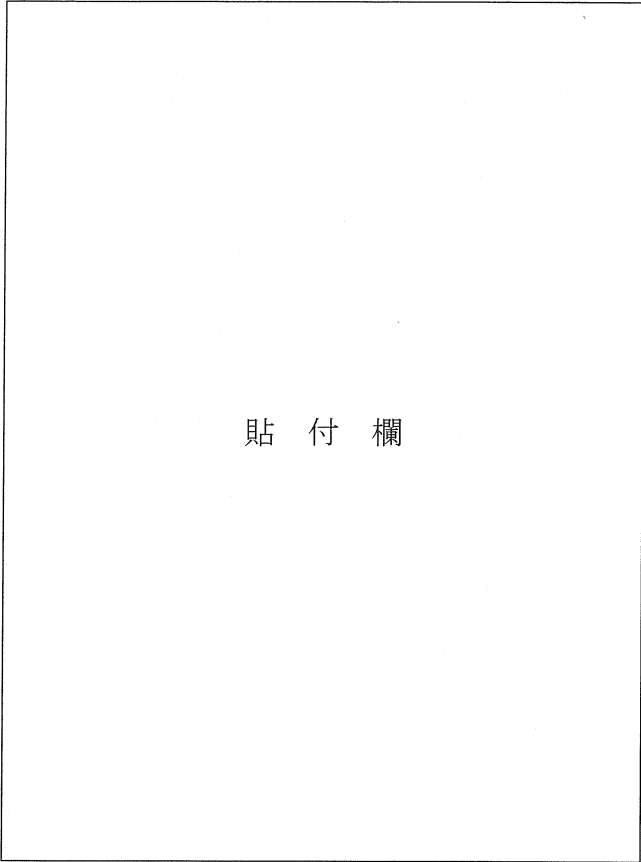
工事施工者 住 所

会社名

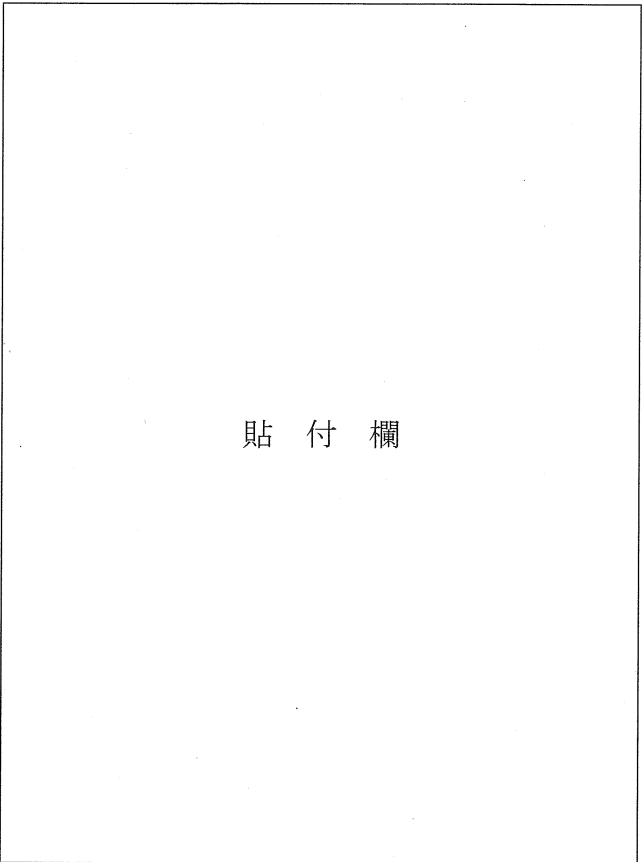
代表者職氏名

印

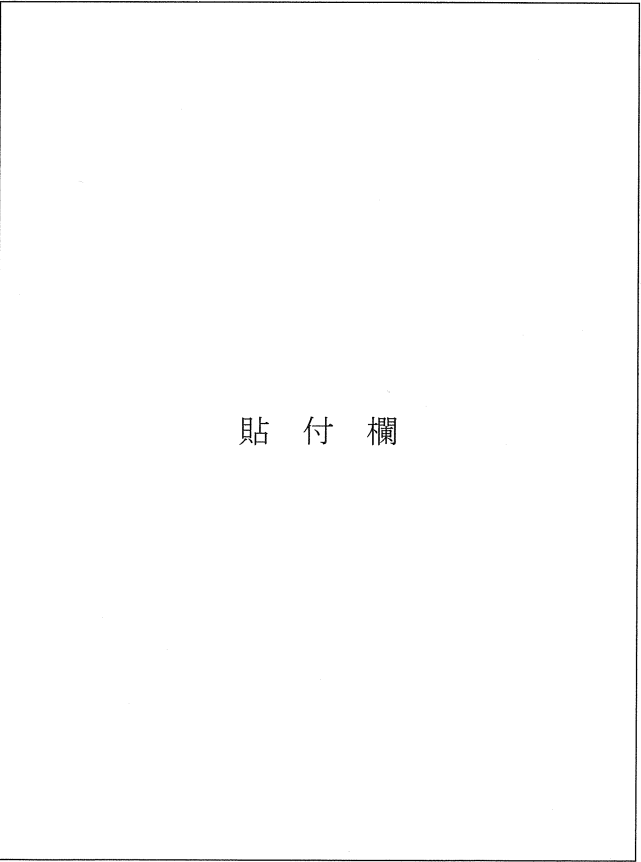
□住宅の全景の外観のカラー写真



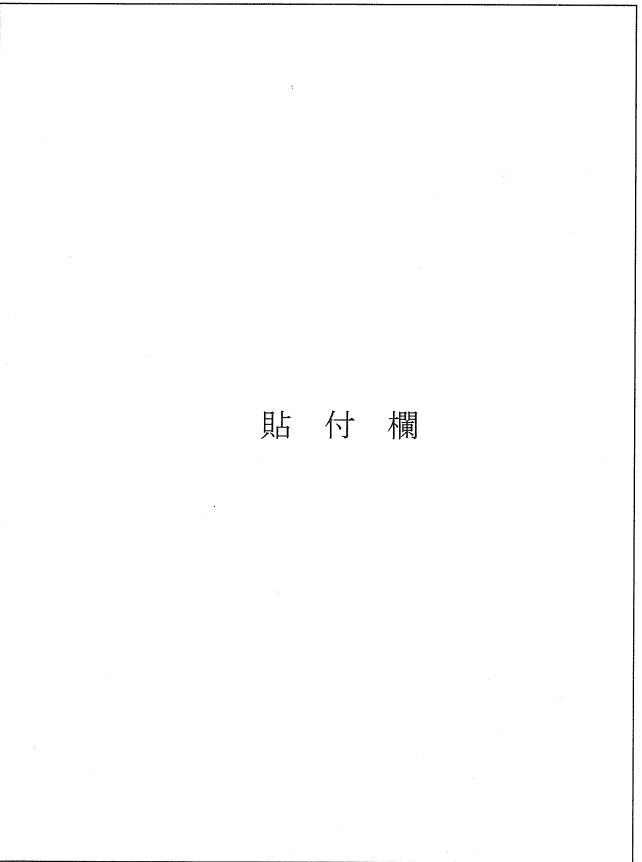
□住宅の内観の県産木材のわかるカラー写真



□主要な柱の断面寸法が読みとれるカラー写真



□基礎の立ち上がり高さが読みとれるカラー写真



注 写真は、別途添付しても結構です。

令和 年 月 日

「やまがた県産材合板」等使用報告書

大江町長 殿

施 工 者 (報 告 者)	(住所) 〒
	(会社名)
	(代表者名)
印	

私は「山形県産材合板」等下記のとおり使用したことを報告します。

販売元	(住 所) 〒 (事業者名)					
住宅の建設地	(住 所) 〒 (氏 名)					
入 荷 年月日	規格 (mm)			枚数 (枚)	材積 (m³)	ロットNO.
	厚さ	幅	長さ			
計						

※上記記載に虚偽があった場合は、補助金交付決定等を取り消す場合があるのでご注意ください。